

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公表番号】特表 2018-515100 (P2018-515100A)

【公表日】平成 30 年 6 月 14 日 (2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2018-022

【出願番号】特願 2017-559040 (P2017-559040)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/6848 (2018.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/6848 Z N A Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 8 日 (2019.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

核酸増幅反応におけるサンプル阻害を排除するための水性組成物であって、
 複数の酸化ジルコニウム粒子と、
 0.005% （質量/体積）以上の濃度の非イオン性界面活性剤と、
 有機鉄キレート剤と、を含有し、
 前記組成物は、約 $8.45 \sim 8.85$ の pH を有し、
 前記有機鉄キレート剤は、第二鉄に対し $10^4 \cdot 2$ 以上の第 1 のアフィニティ定数と、
 マグネシウムに対し $10^3 \cdot 8$ 未満の第 2 のアフィニティ定数と、を有し、前記第 1 のア
 フィニティ定数及び前記第 2 のアフィニティ定数は、 20°C にて pH 8.45 の脱イオ
 ン水中で測定される、水性組成物。

【請求項 2】

前記複数の粒子が、 100nm 以下の平均粒子径を有する、請求項 1 に記載の水性組成物。

【請求項 3】

前記有機鉄キレート剤が複数のカルボキシレート基を含む、請求項 1 又は 2 に記載の水性組成物。

【請求項 4】

第二鉄を更に含有する、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項 5】

ナノ粒子分散安定剤を更に含有する、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項 6】

前記非イオン性界面活性剤が、約 $11 \sim 16$ の親水性?親油性バランスを有する、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項 7】

ポリビニルピロリドンをも更に含有する、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項 8】

指示染料をも更に含有する、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項 9】

a) 複数の酸化ジルコニウム粒子と、非イオン性界面活性剤と、エチレングリコール四酢酸 (EGTA) の一価の塩と、を含み、約 8.45 ~ 8.85 の pH を有する組成物を、対象とするサンプルと接触させて、水性混合物を形成する工程と、

b) 工程 a) の水性混合物を熱による溶菌プロセスにかける工程と、

c) 工程 b) の後で、前記水性混合物の一部を核酸増幅プロセスにかける工程と、を含む、核酸増幅方法。

【請求項 10】

複数の酸化ジルコニウム粒子と、

非イオン性界面活性剤と、

有機鉄キレート剤と、を含有する、キットであって、

前記有機鉄キレート剤は、第二鉄に対し $10^{4.2}$ 以上の第 1 のアフィニティ定数と、マグネシウムに対し $10^{3.8}$ 未満の第 2 のアフィニティ定数と、を有し、前記第 1 のアフィニティ定数及び前記第 2 のアフィニティ定数は、 20°C にて pH 8.45 の脱イオン水中で測定される、キット。